

施工報告書

長津田擁壁上法面補修工事

発注者：国交省関東地整
横浜国道事務所
施工場所：国道 264 号長津田付近

既存間知ブロックのかさ上げと上部法面の補修

GE0ハイウォール工法採用理由：

既存間知ブロックのかさ上げは、現擁壁構造の基準で、1m 程度となっている。

補修法面は、既存間知ブロックの上載荷重として考慮されている。

上載荷重の条件を変更しない工法での、補修が“安全・安価・早い”く、国道の“交通規制不要”が最低条件となり、ハイウォール工法が採用された。

